

職場から声を上げ「運行優先」から 「安全第一」の風土をつくりだそう！

原因が明らかになっていないのに 東北新幹線3月14日から併合運転再開？



3月6日上野～大宮間を走行中、3021BのZ編成とU編成がまたもや列車分離をするという重大な事象が発生以降、東北新幹線は併合運転を中止していました。JR東日本は3月11日に記者会見を行い、3月14日から順次併合運転を再開すると発表しました。記者会見ではZ編成に何かしらの電気的な異常が発生したとしていますが、車両が分離をした根本的な原因については調査中とし、明らかになっていないことが示されました。当初会社は、原因が判明し対策が完了するまで当面の間、併合運転をすべて取りやめるとしていましたが、原因が判明していないにもかかわらず、暫定的な対応で併合運転を行うことに疑問を持たざるを得ません。

JR東労組新幹線協議会は、2024年9月19日に発生した3006B列車分離時、幹本申第2号「東北新幹線で発生した列車分離の原因究明と対策の実施を求める緊急申し入れ」を行い、「原因が判明していない中での併合運転継続は問題がある」と強く主張してきました。これに対し会社は、「車両等の状況から他編成で同様の事象が発生する可能性は低い」として併合運転継続の判断に問題は無いと回答していました。これまでの教訓を活かさない事となれば、JR東日本は安全よりも運行優先体質になってしまっているのでは無いでしょうか！



職場の声

- ・原因が究明されていないのに、併合運転して大丈夫なのか。
- ・9月の事象で本当に原因が究明されていたのか。
- ・プレスで併合運転再開を知った。社員が知らない間に物事が進んでおり、お客様に説明ができない。
- ・併合再開が決まっても、どのような作業が発生するのか説明がなく不安だ。本当に安全なのか。
- ・お客様に安全だと、どのように説明すればいいのか。
- ・多くのお客様に「JR東日本は大丈夫か」と毎日言われ、精神的に大変だ。
- ・併合中止の対応で職場は疲弊している。